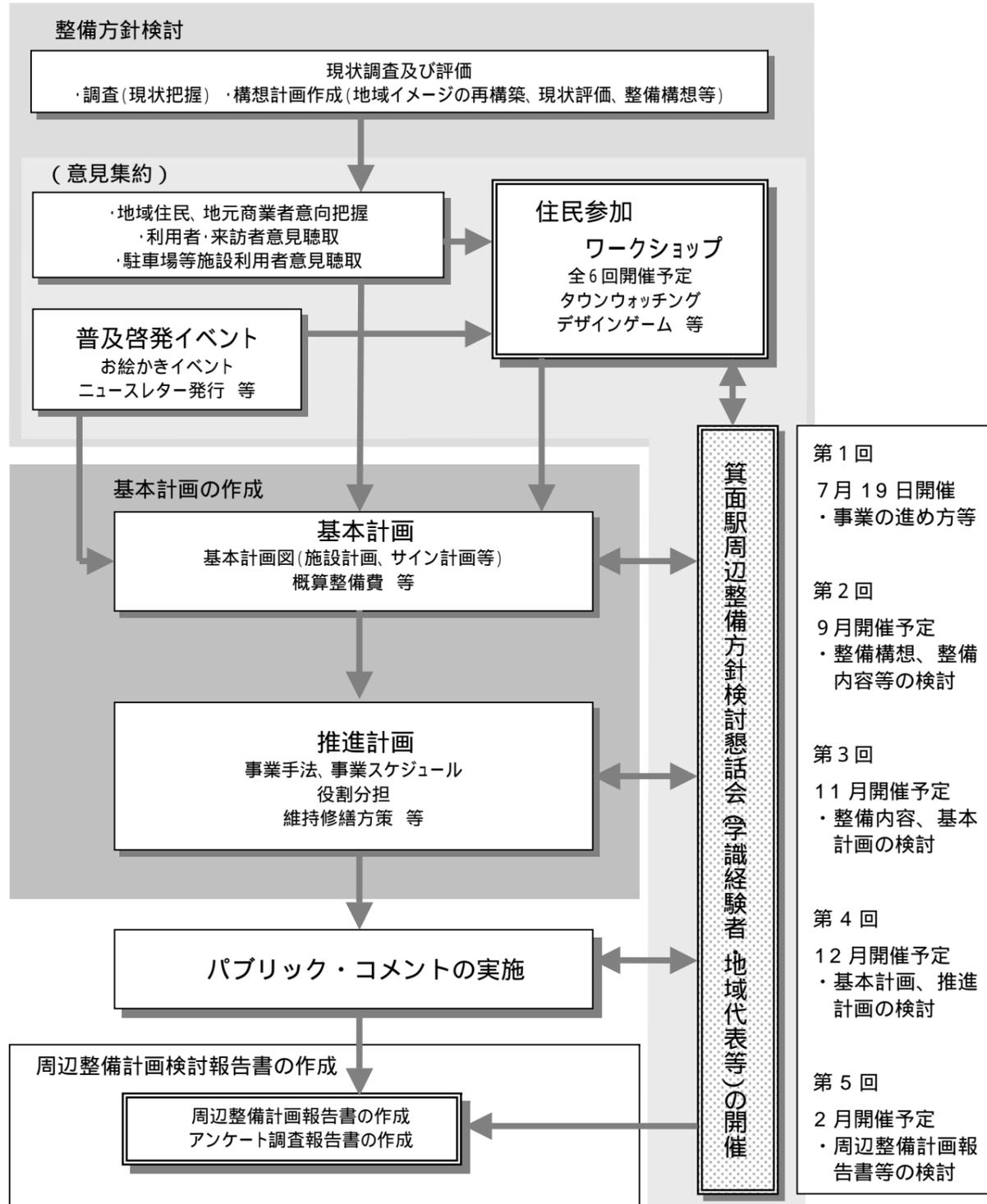


1. 方針検討の進め方

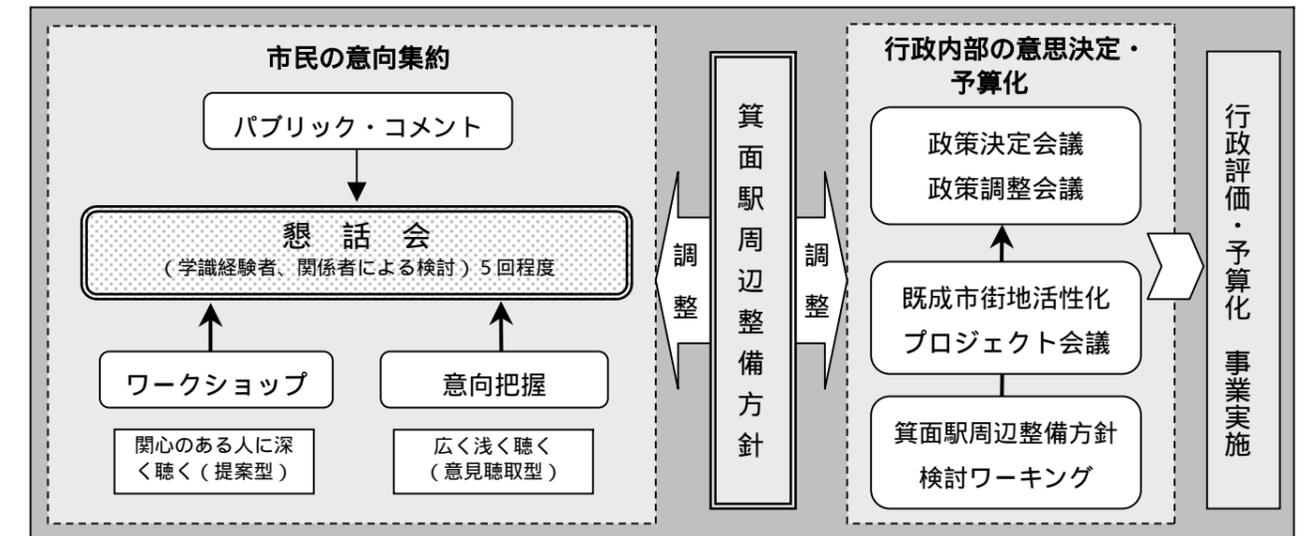
・箕面駅周辺整備方針の検討は、次に示す手順で実施します。



2. 懇話会の位置づけ

方針の合意形成の進め方

- ・箕面駅周辺整備方針検討にあたっては、学識経験者、関係者代表、関係機関からなる懇話会を開催します。
- ・一般市民の参加によるワークショップを開催します。
- ・広く市民の意向集約のための意向調査及びパブリック・コメントを実施します。
- ・ワークショップ、意向調査及びパブリック・コメントの結果を受けて、行政(箕面市)内部のワーキングやプロジェクト会議等と調整し、情報共有しながら懇話会が中心となって周辺整備方針案を検討します。
- ・その後、検討した方針案を基に、政策決定会議等を経て行政評価・予算化、事業実施へと繋がります。



懇話会の役割

- ・懇話会は、方針検討の実施体制の中にあって、パブリック・コメントの提示資料を検討するとともに、行政内部の意志決定会議と調整し、公共施設の整備を中心とした「箕面駅周辺整備方針案」の検討を行います。
- ・ワークショップや意向把握の結果を受け、具体的な周辺整備計画の内容の検討を実施します。
- ・ワークショップや意向把握の実施にあたって、その手法や内容等について助言します。

懇話会	
担当	・ワークショップや意向把握等の結果をうけ、整備方針、整備手法、周辺整備計画等の検討部会としての役割を担う。 パブリック・コメントへの提示資料の検討、既成市街地活性化プロジェクト会議等と調整し、情報共有しながら周辺整備方針案の検討・作成を行う。
実施回数	・5回開催予定
メンバー	・学識経験者、TMO、市民代表、駅前地区の商業者代表、交通事業者、行政関連各課担当 行政事務局、コンサルタント等 18名

1. 方針検討の背景と目的

箕面駅周辺の現状

- ・ 阪急箕面駅周辺は、年間約250万人の観光客が訪れる「箕面の玄関口」であり、本市の商業機能、行政・公共機能が集約された重要な中心市街地です。
- ・ しかし、近年は、少子高齢化をはじめとする社会・経済状況の著しい変化を背景に、公共施設を中心とする周辺施設の老朽化、商業の衰退等の課題が顕在化し、賑わいが失われつつあるため、TMO（箕面わいわい株）を中心として、箕面まちづくり協議会、箕面商工会議所、行政等が積極的に活性化に取り組んでいるところです。

箕面市のこれまでの取り組み

第四次箕面市総合計画 第2期実施計画 (平成16年 3月)

- ・ 「既成市街地の整備」及び「商工業の活性化」について、優先すべき施策として位置づけています。

箕面市中心市街地活性化基本計画 (平成16年 12月)

- ・ 箕面駅周辺 = 活性化重点整備地区
- ・ 箕面駅周辺 = 箕面市民交流ゾーン（広域交流拠点）
- ・ 箕面駅前広場 = 観光都市箕面の玄関口

【活性化重点整備地区・箕面地区の施策】

- ・ バリアフリーのまちづくり
- ・ 駐車・駐輪場の整備・改善
- ・ 箕面駅前広場の有効活用
- ・ 公共施設機能の再配置
- ・ 身近な生活回遊路づくり
- ・ ショッピングストリートの創出 など

みのおサンプラザ等公共施設再配置計画 (平成17年 7月)

- ・ 中心市街地活性化基本計画に位置づけられた施策の実現を目標として、みのおサンプラザ1号館内の公共施設について、郷土資料館、市役所第二別館との一体的な再編整備を行います。
- ・ 現在は、本計画に基づいた施工の段階にあり、みのおサンプラザ1号館の地階部分については平成18年8月、その他の階についても平成18年度中にリニューアルオープンの予定です。

箕面駅周辺は、広域交流拠点、観光都市箕面の玄関口として、中心市街地の活性化に向けた位置づけがなされています。

そして現在、TMO（箕面わいわい株式会社）による活動をはじめとして、活性化に向けた取り組みが積極的に進められています。これを機に、箕面駅周辺の公共施設（駅前広場・駐車場・駐輪場等）についても、利便性の向上等を検討する必要があります。

方針検討の目的

- ・ 箕面駅周辺の主な公共施設（駅前広場・市営駐車場・駐輪場・アーケード等）については、機能、設備、景観等の面で、それぞれに課題を有し、また、施設更新の時期にあることから、「箕面市中心市街地活性化基本計画」（H16.12）並びに「みのおサンプラザ等公共施設再配置計画」（H17.7）において、中心市街地活性化に資する再生の方向性が提示されています。

しかし、これらを個別に検討するのではなく、面的な一体整備の視点で、中心市街地の核である活性化重点整備地区に相応しい公共施設のあり方（互いの連携による相乗効果の創出等）を検討するとともに、市民、地元関係者の意向を反映した形で具体的な箕面駅周辺整備の方針を検討する必要がありますことから、整備方針検討を実施します。

2. 地域の現状と課題の概要

検討対象の地域と施設

- ・ 検討対象の地区は、概ね阪急箕面線（西）及びみのおサンプラザ北側道路（北）、府道豊中亀岡線（東）、府道箕面池田線（南）で囲まれた地区となります。
- ・ 主な検討対象の公共施設は、箕面駅前広場、箕面駅前第一駐車場及び箕面自転車駐輪場、アーケード、その他 となります。

主な検討対象の施設の現状

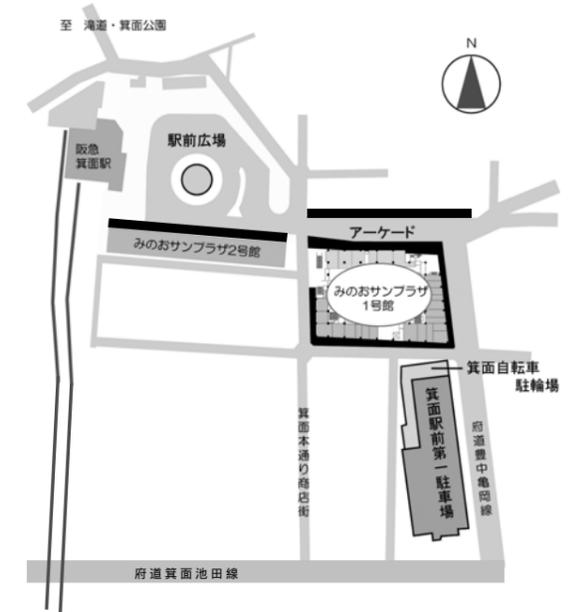
駅前広場

- ・ 昭和55年に、駅前再開発事業における公共交通の拠点として整備されました。
- ・ 駅前ロータリーは築後25年を経て、バス・タクシーの乗車や自家用車の乗降時の安全性確保が課題となっています。また、ロータリーの中心部には、観光都市箕面の「紅葉」「箕面大滝」をモニュメント化した噴水が設置されていますが、現在は故障のため運転を休止している状況です。



箕面駅前第一駐車場及び箕面自転車駐輪場

- ・ 駐車場は昭和55年に開設された、みのおサンプラザの付置義務駐車場です。隣接する駐輪場は、昭和63年に開設されています。
- ・ 駐車場は身体障害者用設備やバリアフリー対応が不十分であるほか、築後25年が経過して建物の経年劣化が進み、外壁の汚れや鉄骨のサビが見られます。また、シンボルロードの景観を損なうとの意見もあります。
- ・ また、駐輪場は建物の老朽化に加え、出入り口の幅が狭く、大きな荷物を持つ利用者が通行しにくいこと、みのおサンプラザ1号館へのアクセスが悪いことなど、利便性の面からの問題点も指摘されています。



アーケード

・箕面駅前の商業集積や、通行者の雨避けの役割を果たしていますが、デザインの阪急箕面駅側や灌道入り口からの視覚を遮断し、閉鎖的な印象を与えているほか、築年数が経過し、設備面での老朽化も課題となっています。



共通の問題点と課題

【共通の問題点】

- ・広域交流の結節点として、視覚的、機能的に相応しい状態ではない。
- ・機能、動線の面で利便性が悪い。
- ・設備、構造の面で老朽化が進んでいる。

【課題】

- ・公共施設を中心とする駅周辺の施設については、「箕面の玄関口」に相応しい役割と魅力を備えた施設として、機能、設備、外観等の改修が必要。
- ・回遊性を効果的に生み出す動線計画についても検討が必要。

個々の公共施設や設備、工作物の改修整備方針を決定するも目的の一つですが、中心市街地活性化の重点整備地区内であり、それぞれを、一体的な面的整備の視点で、相乗効果の創出など活性化に可能な限り貢献することをめざした駅周辺の整備計画を持つことが重要です。

また、アーケードの取扱いなどで、商業者と通行する市民との間で利害が対立することも予想されるため、より幅広い市民意見、様々なアイデアを集約するため、市民意向調査や関係者を交えたワークショップ等の取り組みが重要です。

与件

本調査業務で作成する箕面駅周辺整備計画は、箕面市中心市街地活性化基本計画の計画期間のうち、前期途中～中期（平成19年度～23年度）を想定しています。  
駅前ロータリーにおいては、拡張など都市計画の変更を伴うような大規模な変更は予定していません。  
駐車場の建て替えは長期的課題として位置づけており、本整備計画においては実施しません。

3. ワークショップの進め方(案)

- ・ワークショップは、次のような流れによる実施を検討します。
- ・全6回開催し、検討結果を懇話会に対して提案していきます。

第1回  
(8月上旬)

『地域の現状と問題点を見つめ直してみよう!』

箕面駅周辺の整備を考えていく上で基礎となる情報を、参加者全員で共有します。

第2回  
(9月上旬)

『箕面駅周辺整備のテーマ・地域整備のコンセプトを考えてみよう!』

箕面駅周辺のまちづくりの目標や狙いなど念頭に置きつつ、中心市街地活性化の重点整備地区としてふさわしいテーマ及びコンセプトを検討し導き出します。

第3回  
(9月下旬)  
第4回  
(10月中旬)

『テーマ・コンセプトに基づいて、箕面駅周辺整備の内容を考えてみよう! PART1、2』

テーマ及びコンセプトを踏まえ、箕面駅周辺に付加すべきグレードや整備内容のイメージを検討するほか、一部、デザインやレイアウトについても検討します。  
この時、類似事例等を提示し、イメージの想起を手助けするほか、必要に応じてパースやCG等の使用も検討します。また、参加者の状況によっては、実際の類似事例の視察実施等も検討します。

第5回  
(11月中旬)

『箕面駅周辺の整備が進んだ後・・・ - 維持管理方策やまちづくりの展開も考えてみよう!』

周辺整備の方針や内容に基づき、整備後に予想される維持管理のあり方や進め方、駅周辺のまちづくりの新たな展開について検討します。

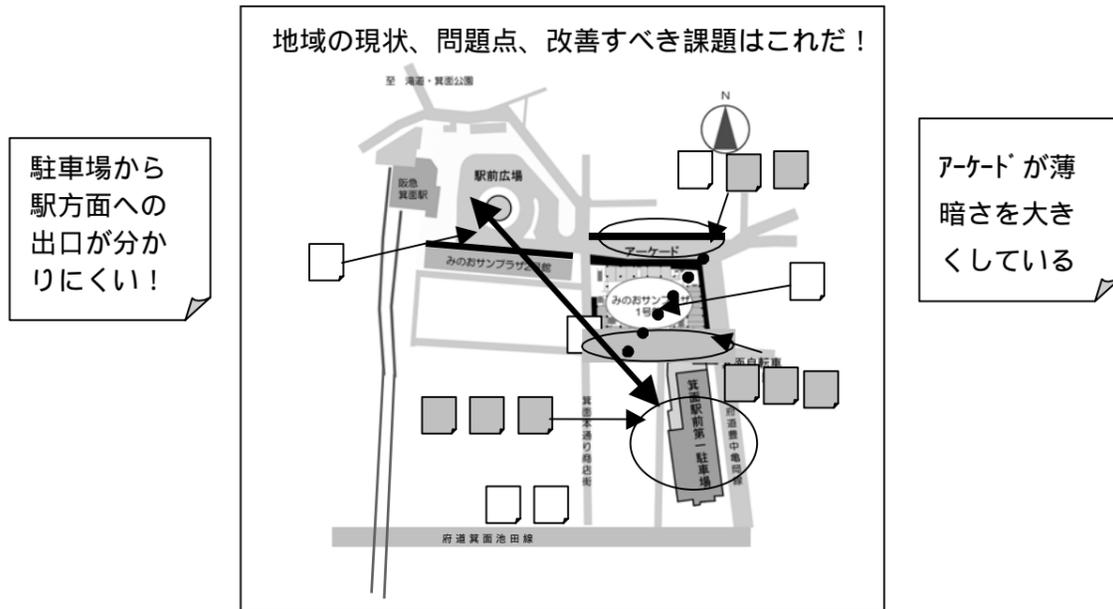
第6回  
(12月中旬)

『箕面駅周辺の整備案はこれだ!』

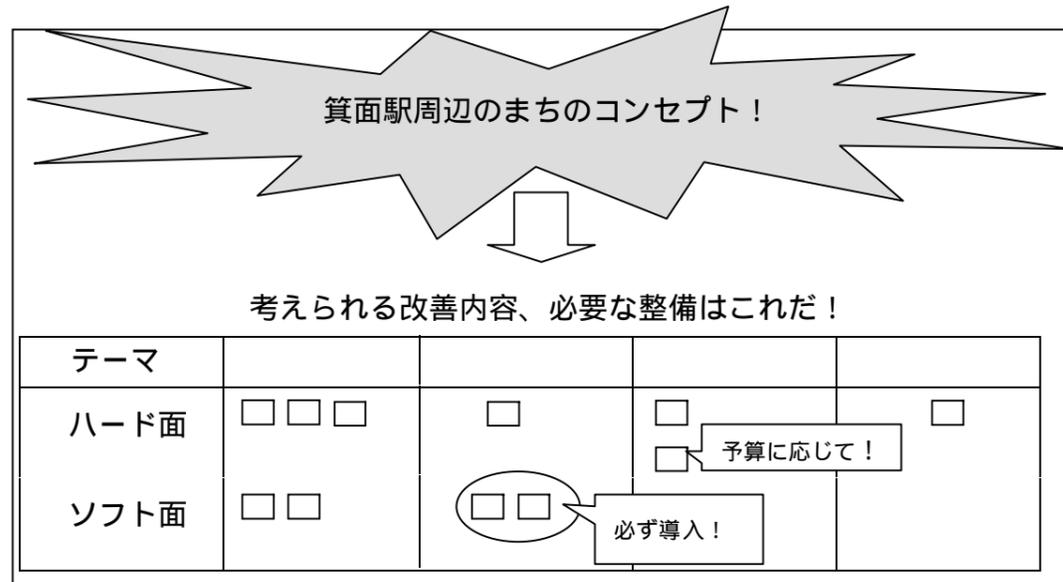
ワークショップの結果及び懇話会の意見等を受けて作成された整備プラン（平面図やイメージ図等）について、内容を確認します。

ワークショップのアウトプットイメージの例

第1回：地域の現状と問題点、改善すべき課題の再確認



第3、4回：周辺整備の内容の検討



4. 利用者意向調査の進め方(案)

・箕面駅前地区で開催されるイベントの際には、利用者に対する街頭アンケートを実施し、意向把握します。

調査概要

- 調査日時
  - 平成18年7月22日(土)、23日(日) 17:00~21:30(雨天の場合は中止)
  - 平成18年7月29日(土) 10:00~18:00
  - 平成18年8月7日(月) 10:00~17:00

- 調査場所：各イベント会場
- 調査対象者：イベント参加者、来訪者

調査方法

各イベント会場に訪れた来訪者、利用者を対象に、聞き取り調査回答を要請。  
また、テーブルを設けて、調査票への記入も要請する。  
調査票はA3版表面のみ。設問数10問程度(聞き取り時間等を考慮)。  
調査員により調査票(設問)を読み上げ、得た回答を記入する、調査員による「聞き取り調査」を基本とし、直接記入していただける場合は、テーブルにて記入してもらう。

調査内容の概略(案)

- 箕面駅周辺の現状、商業地としての印象
  - 例) 阪急箕面駅周辺の現状、商業地の印象について、該当するものを一つ選んでをつけてください。
 

駅前の広場や通りの雰囲気	1. 良い	2. ふつう	3. 悪い
買い物・利用のしやすさ	1. しやすい	2. ふつう	3. にくい
お店の種類や数	1. 足りている	2. ふつう	3. 足りていない
- 駅周辺、商業地として地域に不足している施設
  - 例) この地域に足りないと思われるもの、あった方が良くと思われるものはありますか。該当するものを選んでをつけてください。
    1. 駐車場
    2. 駐輪場
    3. アーケード
    4. ベンチなどの休憩施設
    5. トイレ
    6. 自由に利用できる広場、スペース
    7. カラー舗装
    8. 案内表示・看板
    9. 音声案内
    10. 街路樹や花壇などの緑
    11. 障害者用の施設(点字ブロック、スロープなど)
    12. 明るい照明・ネオン
- 駅周辺、商業地として改善すべき施設
- 商業地として不足している業種、店舗
- 箕面山七日市等の地域の取り組み(TMOの取り組み等)について
- 属性(性別、年齢、居住地、利用交通機関) 等

参考 - 地域のアメニティ機能に関する調査結果



・駅前広場に向かってついたのよう再開発ビルが建つ。しかし、3階に抑えられている分、圧迫感は比較的抑えられている。



・水をまちに生かすのは大切なことであるが、水量が十分あるとは言い難い。



・かつての箕面街道沿いに形成された古からの商店街。  
・通りの幅、建物の高さがヒューマンスケールで、心地よいショッピングモールとなっている。アーケードがないのがよい。  
・所々にさりげなく置かれているベンチがよいが、数としてはやや少ない。



・通りが微妙に曲がっているため、直線的に遠くを見通せないことが、界わり性を一層醸し出している。



・新しく建つマンションの住民が、商業地としての顧客になる。

・店舗がなく、少し通りが広いため、箕面池田線と商店街が分断された印象。  
・特に、あさひ銀行駐車場の植え込みブロックが高いことが、これを助長している。

・箕面地区におけるにぎわいのメインストリート的なイメージがあるが、店舗数はやや少ない。



・周辺の駅と比べると相当広い駅前広場  
・中央のモニュメントは、地域のイメージを感じにくいものとなっている。  
・広すぎるのがかえって観光客動線と商店街との分断要因となっている。

・通りがさみしい  
・伝統的な建物が見受けられ、これを生じた雰囲気づくりの可能性がある（観光との連携）。

・アーケードが重厚で、全体的に暗い印象。

・店舗が内向きになっており、通りのにぎわいが少ない。このことが、北側のさみしさに影響を与えている（にぎわいは沿道両側でつくるもの）。

・8階建ての高層ビルで、まち対して閉鎖的で、光を遮るなどの影響で少し暗い。

・駐車場が老朽化しており、通りの景観に大きな影響を与えている。  
・にぎわいの分断要素となっている。

・地下や奥まっている店のづくりが、暗い印象を与える。

・スクランブル交差点となっており、人の往来が、賑わいを醸し出している。



「みのおサンプラザ及び本通り商店街周辺を対象とした現状評価」（平成17年度（2005年度）箕面市）より抜粋